

えんだより 卒園記念号

◇発行◇令和3年3月14日(日)
 広島文教大学附属幼稚園 TEL (082) 814-4032
 FAX (082) 814-7206
 Eメールアドレス : fyouchien@h-bunkyo.ac.jp

卒園児自画像



ご卒園おめでとうございます

この一年、たまごホールの壁面の桜の木とともに『生きる』をテーマに歩んできました。

新型コロナウイルス対策の“新しい生活様式”に従って、マスクをする、お友だちと離れて過ごす、お友だちと話さないなど、自分とお友だちの命を守るために、約束を守って生きてきました。子どもたちにとって幼稚園生活のこの時期は、お友だちと接触して、お友だちと話をして、人とのほど良い距離を知り、会話表現の広がりや身に付けていくための経験を積む大切な時期です。十分な経験を積みできなかったためか、A組は児童期に入ったこともあり、このところ言葉のやり取りでのお友だちとのトラブルが聞こえてきていました。そこで、A組は集まって幼稚園生活を振り返ってみました。D・C組のころはA・B組に助けられました。B組の時は自分のことができるようになり、C・D組を少し助けられるようになりました。A組はすごいなと思っていました。A組になってからは、心と体が大きくなり、できることも増えて、もっとみんなを助けられるようになりました。この一年何をしたのかなどの投げかけが一番に出てきたのは“チャレンジ”でした。毎日コツコツと自分で選んだことに取り組み、注意力、持続力、集中力などが育ちました。分野別活動、諸行事、思い出がいっぱいです。会話が少なかった分、よく見る、よく聞く、よく考えることがとても育ちました。振り返りが進み、いつも一人ではなかった、お友達と一緒にいたけれど、みんなの心はつながっていたと声が出ました。そして心は見えないから、心を込めて言葉で伝える、言葉は一度言ったら取り消せないから言葉を大切にすることが、あがってきました。これからは・・・これまでいろいろな人に助けられて大きくなったから、他の人が困っていたら助ける。自分も大切にするとともになりました。

子どもたちの「大きくなったら〇〇になりたいです。」で、同じ夢であっても、子どもたちが描いている〇〇は一人一人違います。言葉の中には無限大の心や意味を込められますし、言葉のとらえ方も無限大の広がりがあります。多様性が求められるこれからの世界で、柔軟な生き方ができますようにと願うとともに、創立50周年の記念品の“ものさし”を手にするたびに、文教幼稚園で大切にしてきた、変わらないこと、変えてはいけないことを思い出し、これからの日々を豊かに過ごし、子どもたちが自分の夢をかなえていきますようにと願っています。



A組 大学構内で昼食



給食の千鳥さんへ
お礼手紙



BCD組の自画像

令和2年度 第50回卒園児名

すぎの木組	くすの木組	ならの木組	もみの木組	かしの木組
江口 瑠花	伊東 奨盛	秋山 駆琉	川本 双葉	阿部 結佳
奥島 充紀	上田 麻奈未	大森 早桜	小積 知真	阿波 咲奈
久保田あやの	掛迫 友莉奈	岡田 悠生	坂本 充	佐伯 陽香
小西 美蕾	幸野 陽夏汰	熊本 唯菜	竹下 つむぎ	スヴェン 雅藍
坂田 蒼介	小阪 祥平	藏本 桜	寺田 会秀	塚本 葵子
島末 彩生	佐々木 心香	五丹 琴葉	デビズ 仁菜	丸山 詩織
杉村 優里	土井 彩音	百々 成生	中原 優花	村上 穰一朗
土井 咲空	難波 咲良	西村 直人	濱本 幸來	村上 友哉
中原 隆介	西村 梨央	野上 芽生	細迫 希心	保井 颯太
松長 たみ	藤永 落	ローズ ヘレイナ	松岡 隆也	浴本 のぞみ
	前崎 斗希		目崎 蓮	吉田 華菜

卒園記念品

瞳曇

大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。



令和2年度末 退職者のお知らせ

令和3年3月31日付けで、野地先生と前西先生が退職されます。先生方のご尽力に感謝すると共に、今後のご健康とご多幸を祈念いたします。